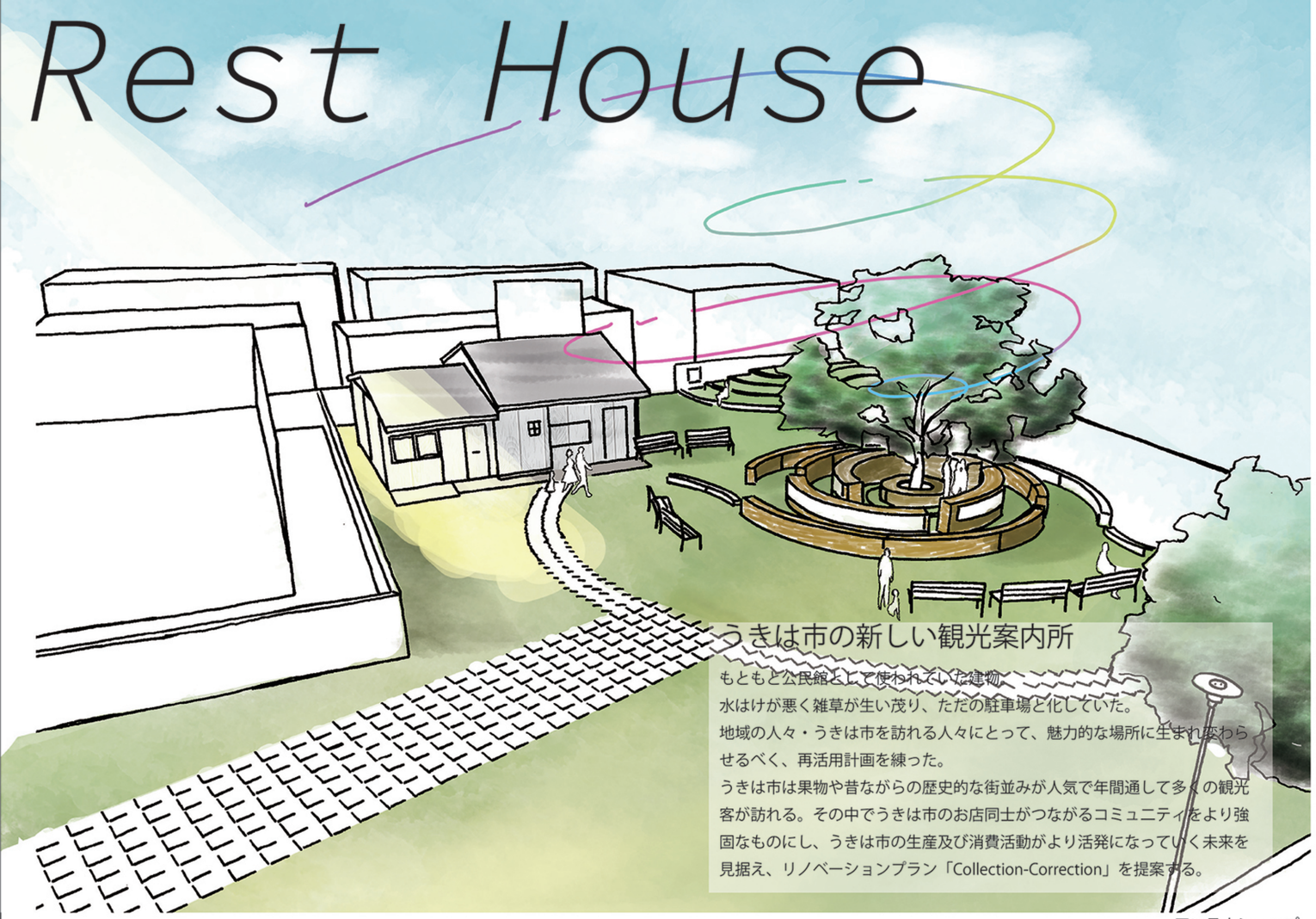
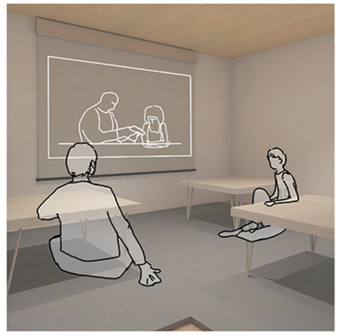
Rest House



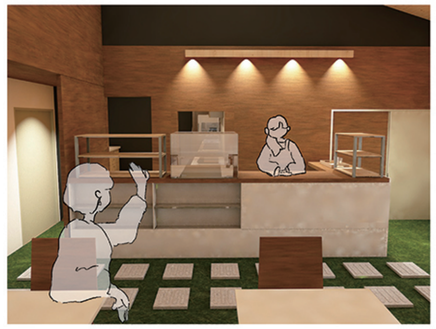
うきは市の新しい観光案内所

もともと公民館として使われていた建物。
水はけが悪く雑草が生い茂り、ただの駐車場と化していた。
地域の人々・うきは市を訪れる人々にとって、魅力的な場所に生まれ変わらせるべく、再活用計画を練った。
うきは市は果物や昔ながらの歴史的な街並みが人気で年間通して多くの観光客が訪れる。その中でうきは市のお店同士がつながるコミュニティをより強固なものにし、うきは市の生産及び消費活動がより活発になっていく未来を見据え、リノベーションプラン「Collection-Correction」を提案する。

建物内パース



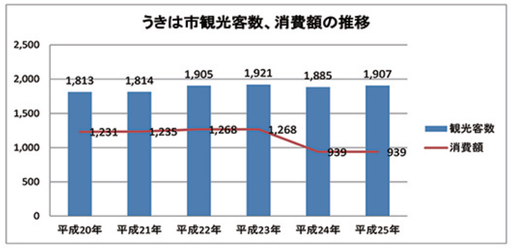
椅子にじっと座り続けるのが難しい子供、それを見守る親の負担を少しでも減らせるよう座敷にし親子で楽しむことが出来る。



お客さんとの距離が近いレジカウンターカウンターの上にショーケースを設置、店舗内の落ち着いた雰囲気を楽しむことが出来る。

卸売りするシステムを取り入れるためコーヒーをつくることが出来るだけの小規模なキッチン

うきは市カフェマップ



うきは市の現状

	総数（万人）					消費額（百万円）
		日帰	宿泊	県内	県外	
福岡県全体	10,982.4	9,969.6	1,012.8	7,298.6	3,683.8	543,145
筑後地区	2,056.5	1,938.6	117.9	1,440.4	616.1	34,173
うきは市	193.0	189.3	3.7	144.8	48.2	1,675

うきは市観光客数、域内消費額

（単位：万人）

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
福岡県全体	10,012.6	10,303.6	10,673.7	10,723.0	10,982.4
筑後地区	2,064.5	2,092.0	2,075.5	2,065.4	2,056.5
うきは市	190.5	192.1	188.5	190.7	193.0

年度別うきは市管区客数

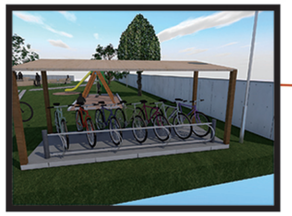
うきは市は観光客年間約 193 万人と比較的多い数字が出ているが、これらの観光客数の域内消費額としては約 16 億 7000 万であり、1 人当たりの消費額を換算すると約 865 円という極めて低い数字である。
このような現状になっている原因を分析してみた結果、うきは市内にあるカフェや飲食店がそれぞれ離れていること、そして電車やバスといった公共交通機関でうきは市に訪れた人にとって、多くのお店を訪れることが困難であることが要因になっていると結論付けた。
このことから、うきは市に訪れた際にうきは市にあるカフェや飲食店を気軽にお試しできる場を設けることで解決されると考え、うきは市内にある様々なスイーツ、果物、和菓子などを試食することが出来る「アンテナショップ」を設けるという案を考えた。

出典：福岡県観光入込客数推計調査 を加工して作成

アンテナショップ

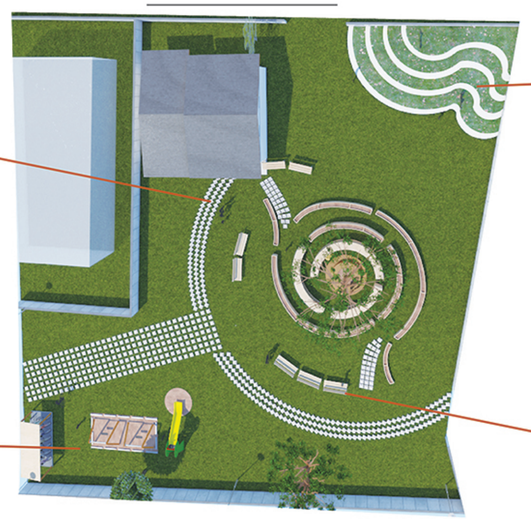
部屋の中まで人工芝で埋めることにより室内と室外をの境界線をあいまいに

レンタルバイク

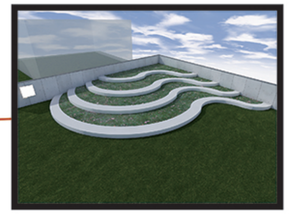


街中での移動をスムーズにするためのレンタルバイク

～公園全体図～



階段丘



高いとこから子供の様子を眺めることが出来る階段丘

渦巻オブジェ

渦所につくった中心のオブジェニより人が中心に集まる様子を眺めることが出来る

UKIHA RENOVATION

～西本町児童公園リノベーション～

まず、うきは市では子供たちが安全に遊べる、綺麗に整備された公園が少ない！
という問題があります。西本町児童公園の現状として、外装・内装共に色あせた
状態で建物の老朽化が見られます。地面も、凸凹な上、水はけの悪い状態です。
そこで、私たちが考えた今後の公園像は**「公園＝人を守る存在」**です。
なので、今回コンセプトとして**「第二の家」**にしました。第二の家とは、
暖かく、活気ある公園にしたいという意味が込められていて、
どんな時いかなる状態でも家のような感覚で居られる、人々の支えとなる公園に
したいと考えました。
システムとしては、**防災公園 × トライアル店舗**です。

■トライアル店舗

■運営システム（トライアル店舗）

スマート会議室
SMART KAIGISHITSU

私たちは今回、レンタルスペースという空間奥の部屋に作りました。

レンタルスペースとは？

空いているスペースを仮りことで、シェアオフィスに併設されている
共有スペースだったり、スタジオや店舗の一部だったりと形態は様々です。

1. 効率化

いつでも、どこでも
スマホや PC から
レンタルスペース運恵右
に関わる業務を
一元管理できます。

2. 無人化

遠隔で鍵の操作も可能となり、
高いセキュリティで管理・
運営できるようになりました。

3. 収益化

人件費を削減することで、
低コストでのレンタル
スペース運営を実現できます。

■防災公園

「防災をしている意識」をせずに防災ができているということで、「訓練」という言葉に堅苦しさはありますが、特に子供たちに慣れさせることを意識し、楽しさを持ちつついろんな人と人が関わって協力し合いながら訓練できるというのが**「いつの間に訓練」**には重要です。

例えば…
イベントとして防災訓練をしてもらう

私たちも定期的なイベントを行い、それに訓練を組み込んでいくことで楽しく**「いつのまに訓練」**を行うことができます。
また、イベントをやっていく上で空き家である公民館もその要素として利用し、さらに町の人の支えとなれるような場所として用途を検討し私たちの出た答えが「トライアル店舗」です。

瓦チップ

リノベーションするときに捨てる予定だった建物の屋根の瓦を細かく砕いて、瓦チップを作り、公民館まで丸の道を敷きました。

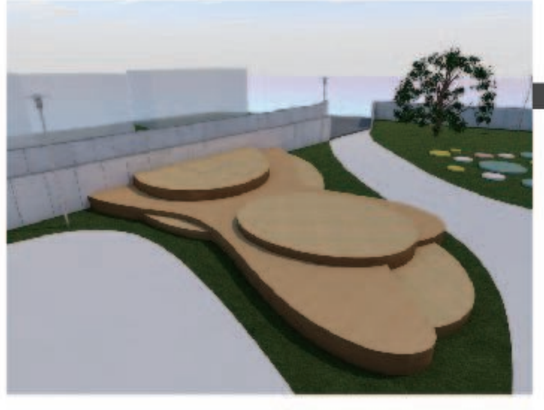
通常時

藤棚・パーゴラ

普段はゆったりするスペース

ベンチ

普段は、藤棚と同じくゆったりするスペースです



棚田ウッドデッキ

うきは市には「日本棚田百選」に選ばれた棚田があります。その棚田のようにウッドデッキも棚田風にしました。段ごとに高さが違い、1 段目は子供やお年寄りが座りやすく、2 段目は大人が座りやすい。3 段目は、子供が走りまわれるくらいの広さになっています。

アスレチック遊具

ボルダリングや滑り台が融合した遊具です。
周辺にはカラフルな芝生で子供たちが自由に遊ぶことができます。また、遊具には屋根がついており透明なので昼の時でも中は明るくなっています。

キッチンスペース

キッチンの後ろに従業員用の個室を設け、ここで着替えなどをしてもらいます。
個室の隣には作業用カウンターが設置されていて、できた商品の受け渡しをここ（受け渡し口）で行うことできます。カフェスペースと奥のレンタルスペースにつながっており、商品ができたらここから呼び出し、来てもらいます。
この台所は、トライアルスペースを使う店舗などに使ってもらいます。通常は、立ち入り禁止になっています。
大きい棚があることで多くの収納が可能になります。

レンタルスペース

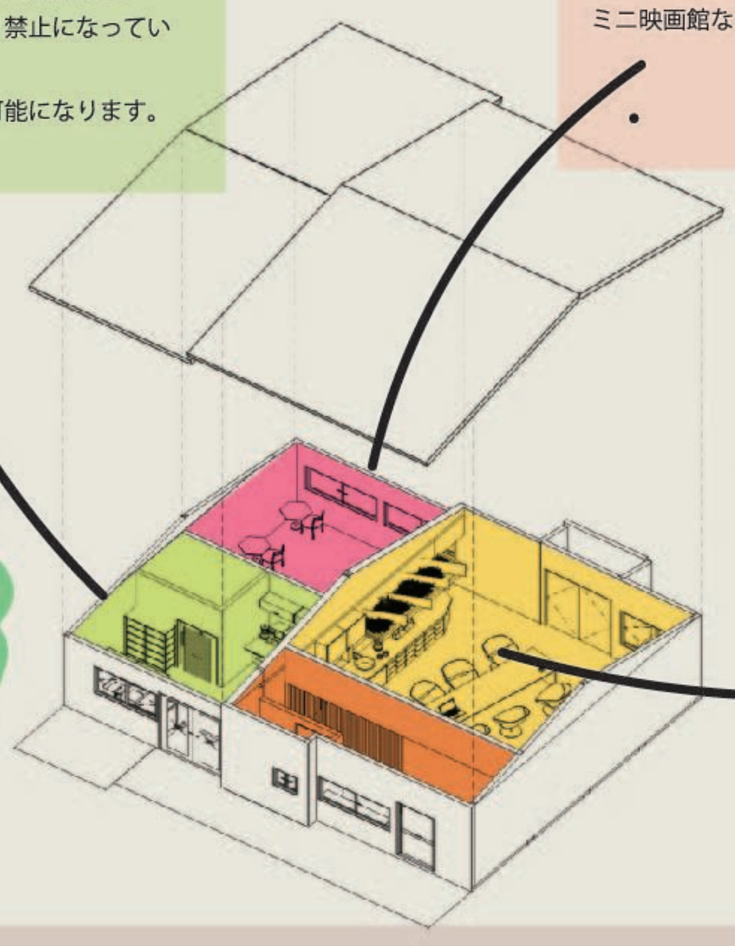
～一人用テーブル～

～大人数テーブル～

一人用スペースとして無償で貸し出しています。
例えば、会議を少人数で行いたいときにこのスペースを予約してもらうことで、貸し切りにすることができます。会議だけではなく、イベントとしても利用できます。
また、災害時ではこのスペースはプロジェクターでミニ映画館などを行うスペースとしてます。

カフェスペース

カウンターは、従業員がお客に対して飲み物の提供はせず、無人化の状態で自由に飲み物を飲むことができます。
テーブルは一枚板の大きい六人掛けのモノを使用し、他人と共有し合いながら使用することでコミュニケーションを生みます。
親子のための居場所をつくるために、小上がりスペースを設けました。
子どもが上がって安全に黒板へ落書きをして遊べます。



災害時

簡易テント

災害時はパーゴラというテントを被せることで、一時的に災害から人を避難することができます。

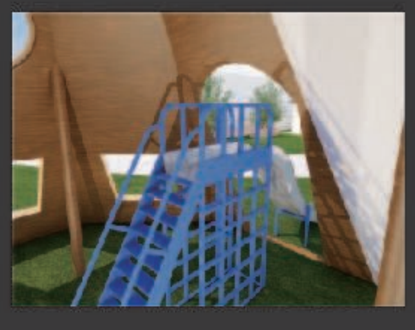
かまど

災害時では、座っている天板を外す事で、火をおこし自炊などができるようにする。
トライアル店舗に入ったお店もかまどベンチを使用することもでき、かまどを使ったイベントもできます。

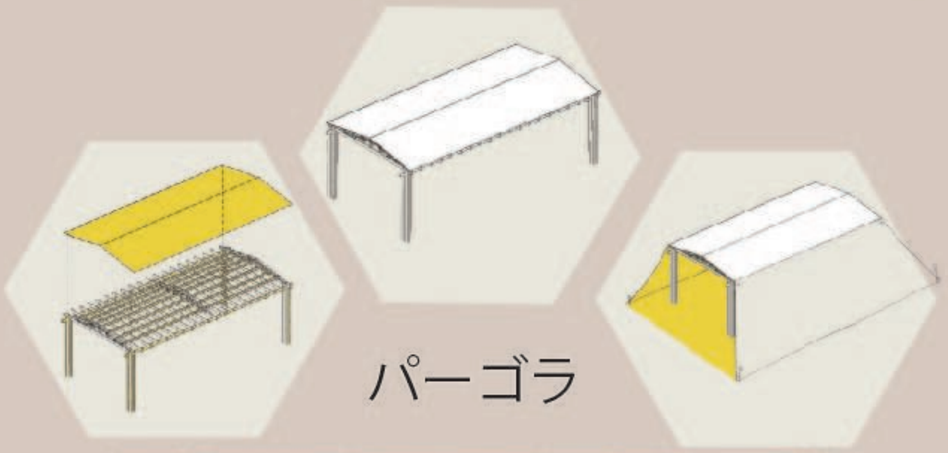
防災備品倉庫

ウッドデッキの３段目の中には、倉庫が入るスペースがあり、３段目に倉庫を開けると扉が付いています。災害時に必要なテントや薪など、災害時に必要になるものが収納されています。

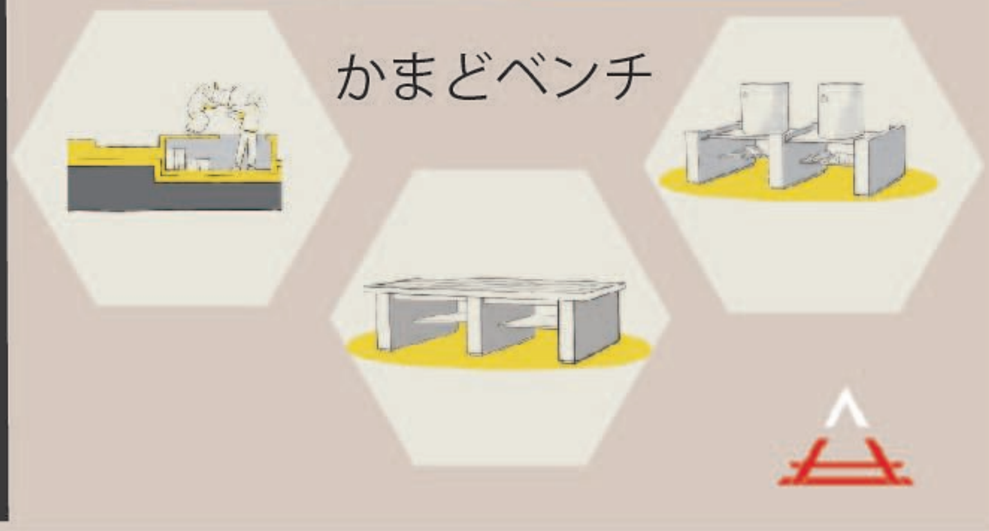
防災遊具



雨が降っているときに屋根がついているので、雨宿りができます。



パーゴラ



かまどベンチ